

令和8年度
事業計画書

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

目 次

令和8年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針	・・・	1ページ
I 米沢市上杉博物館	・・・	2ページ
1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信		
2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成		
II 置賜文化ホール	・・・	8ページ
1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承		
III 米沢市座の文化伝承館	・・・	9ページ
1 伝統文化活動の支援		
IV 市立米沢図書館	・・・	10ページ
1 地域の情報拠点となる図書館づくり		
2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり		
3 こどもの未来を育む図書館づくり		
4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり		
V よねざわ市民ギャラリー	・・・	16ページ
1 芸術・文化活動の活性化		
VI 連携と協働による事業の推進と適正な組織運営	・・・	17ページ
1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進		
2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用		

公益財団法人米沢上杉文化振興財団の目標及び方針

基本理念 市民と協働し、地域文化の創造・振興拠点をめざす

目 標 郷土愛を育み、教育、学術及び文化を振興し、広域交流を促進する

基本方針

1 心豊かな潤いのある地域社会の創造と交流の促進

貴重な地域資源を活かして市民の教育、学術及び文化の振興を図り、心豊かな潤いのある地域社会の創造に寄与するとともに、魅力ある文化交流拠点としての機能を高め、地域の交流促進を目指す。特に、令和8年度は、伝国の杜が開館25周年、ナセBAが開館10周年を迎えることから、記念事業を展開するとともに、これまで培ってきたノウハウ等を活かして利用者等の満足度を高め、地域の文化振興と交流人口の増加に寄与していく。

2 利用者の満足に応える質の高い事業の実施

利用者のニーズの把握を行うとともに職員がそれぞれの職務において協力して研鑽に努め、自らの知識能力及びチームワーク力を高めて質の高いサービスの提供を図るほか、財団の運営する施設相互の連携を強化し、利用者の満足に応える事業を実施する。

3 施設の適正な運営

米沢市の米沢市上杉博物館、米沢市座の文化伝承館、市立米沢図書館、よねざわ市民ギャラリー及び米沢市まちなか駐車場の5施設の指定管理者として、また、山形県の置賜文化ホールの運営業務補助者として市の主管課と連携を密にし、関係法令と基本協定書等を遵守して適正な運営に努めるとともに、地域や人との協働を図りながら、施設の運営を行っていく。

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律の施行に合わせて、ガバナンスの充実と一層の透明性の向上を図り中長期的な視点に立った財団運営を行っていく。

令和8年度事業計画

米沢市上杉博物館

1 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化の継承と地域の魅力の発信

(事業の方針)

- ・上杉家や米沢藩ゆかりの資料及び郷土作家作品等の収集と調査研究を体系的に進め、広く開かれた研究拠点施設を目指す
- ・地域の人々が郷土に誇りと愛着を持ち、地域の内外からの来館者の感動を呼ぶ魅力的な展示を行う
- ・文化財等の適正な保存・管理に努める

1-1 地域の資源等を活用した魅力的な展示による交流の促進

伝国の杜の開館25周年を記念して各企画展を開催する。

(1) 多様な地域資源の活用 (企画展示)

※展覧会のタイトルは、変更する場合があります

展覧会	会期	関連事業
開館25周年記念特別展 「上杉謙信と川中島合戦」	4月18日(土)～6月21日(日) 前期:4月18日(土)～5月17日(日) 後期:5月23日(土)～6月21日(日) [開催日数58日間] ※前期:上杉本洛中洛外図屏風原本展示	■講演会 5/30(土) ■ギャラリートーク 4/18(土)、5/9(土)、 5/23(土)、6/13(土)
開館25周年記念企画展 日欧プライベートコレクション 「ロイヤルコペンハーゲンと北 欧の煌き～アール・ヌーヴォー からモダンへ」	7月4日(土)～9月6日(日) [開催日数63日間]	■講演会 7/26(日) ■ギャラリートーク 7/4(土) ■募集制ワークショップ 7/12(日) ■ナイトツアー 7/17(金)、8/21(金)
開館25周年記念特別展 「藩校興譲館と学都米沢」	9月19日(土)～11月23日(月祝) 前期:9月19日(土)～10月18日(日) 後期:10月24日(土)～11月23日(月祝) [開催日数59日間] ※前期:上杉本洛中洛外図屏風の原本展示	■講演会 日程未定 ■ギャラリートーク 9/19(土)、10/24(土)
開館25周年記念企画展 「郷土刀の世界」	12月5日(土)～1月17日(日) [開催日数33日間]	■ゲストギャラリートーク 12/5(土) ■募集制ワークショップ 1/9(土) ■ナイトツアー 12/18(金)
開館25周年記念コレクション展 「旅する米沢藩～参勤・遊学・物 見遊山」	2月13日(土)～3月22日(月祝) [開催日数38日間]	■ギャラリートーク 2/13(土)、3/13(土)

(2) 上杉氏にまつわる地域資源の活用（常設展示）

上杉文華館では「西からの手紙」を年間テーマに、国宝「上杉家文書」を読み解く展示を12本の小テーマで開催する（上杉家文書は小テーマに合わせて展示替）。

テーマ	期 間
室町幕府将軍(1) 足利義晴	3月31日（火）～ 4月21日（火）
室町幕府将軍(2) 足利義輝	4月23日（木）～ 5月26日（火）
室町幕府将軍(2) 足利義昭	5月28日（木）～ 6月23日（火）
幕府関係者の書状(1)	6月25日（木）～ 7月21日（火）
幕府関係者の書状(2)	7月23日（木）～ 8月25日（火）
北陸の大名(1)	8月27日（木）～ 9月23日（水祝）
北陸の大名(2)	9月25日（木）～ 10月27日（火）
中国地方の大名	10月29日（木）～ 11月24日（火）
織田氏の書状	11月26日（木）～ 12月20日（日）
徳川氏の書状	12月22日（火）～ 1月24日（日）
豊臣氏の書状	1月26日（火）～ 2月21日（日）
公家の書状	2月23日（火祝）～ 3月28日（日）

(3) 次年度以降の展示計画等に関する調査研究の推進

令和9年度以降の企画展開催に向けた調査研究を進める。

- ・上杉謙信関連の調査、研究（令和13年に予定されている米沢市の上杉謙信生誕500年祭事業（仮称）に向けた調査研究を含む）
- ・上杉家旧蔵資料の調査
- ・武家文書の古文書学的調査、研究
- ・米沢藩に関する調査、研究
- ・伊東忠太展に向けた調査
- ・上杉景勝関連の調査、研究
- ・上杉鷹山関連の調査、研究
- ・直江兼統関連の調査、研究
- ・上杉文書の伝来、成立に関する研究
- ・上杉家家臣団関連の調査、研究
- ・伊達氏関連の調査、研究
- ・吉池青園展に向けた調査

1-2 上杉氏をはじめとする地域の歴史・文化等の調査研究と資料の収集・保管・管理

(1) 資料収集、調査研究の実施と成果の公表

米沢市上杉博物館資料収集基本方針及び内規に基づき、収蔵資料の充実を図る。また、収集した資料の調査研究を計画的に進めていく。

① 歴史関連資料の収集・調査

寄託資料の概要調査、収集資料の目録作成と、米沢藩及び上杉家ゆかりの資料をはじめとした郷土ゆかりの資料の追跡・発掘調査を充実させる。

調査研究の推進にあたっては、市民、地域の博物館、教育機関、大学、研究機関等との連携、交流を図りながら、情報の集積や人的ネットワークを構築することに努める。

- ・展示予定資料の解説
- ・上杉裕憲氏寄託資料概要調査
- ・資料収集に関わる新資料の調査
- ・受入済資料の整理、調査の充実
- ・米沢藩及び上杉家ゆかりの資料の追跡・発掘

② 美術関連資料の収集・調査

近親者の高齢化等により急を要する郷土出身作家の基礎調査を継続する。現在活躍中の郷土出身作家についても情報を収集する。あわせて、本年度以降に開催を計画している展覧会の出展予定資料の調査を行う。

- ・郷土作家（物故）に関する調査
- ・現存作家に関する情報収集
- ・上杉家伝来能楽資料に関する調査
- ・上杉本洛中洛外図屏風に関する情報の収集と整理
- ・郷土刀、郷土刀工に関する調査
- ・作品収集のための調査

(2) 市民等の学びなどの支援機能の発揮

① レファレンス対応

収蔵資料、展覧会関連資料、置賜地域の歴史・芸術等にかかわる質問への回答を通して、市民等の学習と活動の機会を提供する。

② 情報ライブラリーの展開

収蔵図書や映像、デジタルコンテンツを配置・拡充して利用者に供するとともに、展示や館の活動に関する質問対応、地域学習の素材や方法論の提供等の参考業務を行う。

(3) 資料整理・管理の推進

① 資料の整理・保管

- ・資料管理マニュアルの更新
- ・計画的な資料の整理及び収蔵文化財総合データベースでの公開
- ・資料の受け入れ（資料の受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納）、新規受入資料のデジタル化（資料情報、写真）、収蔵資料の写真撮影等を進め、管理体制を整える。
- ・上杉文書の再整理（継続）
- ・収蔵資料のコンディショニングチェック
- ・西條家資料の再整理
- ・古川家文書（写真など）の整理
- ・浜田浜雄関連資料の整理（継続）
- ・資料の燻蒸、収蔵スペースのクリーニング
- ・桜井祐一関連資料の整理（継続）
- ・I P M（総合有害生物管理）と環境管理
- ・椿貞雄関連資料の整理（継続）
- ・空気環境調査・カビ防除に関する検討と実施
- ・目賀多家資料の整理（継続）
- ・資料収集に関する調査・資料作成

② 収蔵文化財総合データベースの充実

収蔵文化財総合データベース公開情報の充実を図るとともに、整理の完了した資料の情報をリスト化し、ホームページ上で段階的に公開する。

- ・新規受入資料及の登録
- ・新規受入資料のデジタル化

③ 資料の修理・手入れ

収蔵資料の点検・修理等を適切に実施する。

館蔵及び寄託刀剣については、定期的に手入れを実施する。

④ 収蔵・展示環境整備

I P M（総合有害生物管理）や空気環境の監視を継続する。また、設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進め、より良い博物館展示・保存環境の維持・保全に努める。

- ・収蔵資料のコンディションチェック
- ・エリア区分による段階的管理
- ・粘着トラップの設置、害虫の防除
- ・作品のクリーニング
- ・資料の燻蒸
- ・専門業者による空気環境調査
- ・展示ケース内アートソープ入替え
- ・一般、特別収蔵庫のクリーニング

2 豊かな感性を育み郷土を愛する人材の育成

(事業の方針)

- ・学校の学習活動の支援し、学社連携を推進する
- ・生涯学習施設であり地域の交流拠点として、上杉氏をはじめとする地域の歴史や文化芸術への理解を深めるとともに、日常的な地域学習の場となる多様なプログラムを用意し、地域の人々に学習と活動の機会を提供する

2-1 地域の生涯学習及び学校教育における学習活動の支援

(1) 多様な学びの機会の提供

地域の歴史・文化や民俗・風習、美術・工芸、伝統的な手わざの理解と継承・普及のための体験プログラムを提供する。歴史や美術の体験学習を通して子どもの個性や地域の文化を尊重し合う意識を育て、「生きる力」や「想像力」を育む事業を展開する。

① 常設プレイショップの展開

季節企画では季節の風物を置賜の民俗風習と絡めながら紹介する。造形体験では、様々な素材や技法に触れることのできる幅広いプログラムを提供する。

季節企画	造形体験プログラム	期 間
日本の伝統色①	いろいろな紙でこいのぼり	～ 4月21日(火)
端午の節句	組紙のデザイン	4月24日(金)～5月26日(火)
日本の伝統色②	折ってぼたぼた紙のおりぞめ	5月29日(金)～6月23日(火)
七夕	切り絵のステンドグラス	6月26日(金)～7月21日(火)
盂蘭盆会	光の箱をつくろう	7月24日(金)～8月25日(火)
重陽の節句	紙粘土で秋の和菓子	8月28日(金)～9月23日(水)
お月見	ハニカムシートでつくろう	9月26日(土)～10月21日(火)
七五三	モールで作ろう	10月23日(金)～11月24日(火)
冬至・お年とり	粘土で刀の折り返し鍛錬に挑戦!	11月27日(金)～12月16日(水)
お正月・小正月	紙でつくるいろいろものいれ	12月18日(金)～12月22日(火)、 1月2日(土)～1月26日(火)
節分	紙でつくるおひなさま	1月29日(金)～2月24日(水)
桃の節句	簡単版画をつくろう	2月26日(金)～3月24日(水)

② ワークショップの開催

五感や身体感覚を使ったプログラムや博物館の特徴を活かしたプログラムの開発と展開を行う。

ア 募集制プログラム

区 分	企 画	期 日	対 象
つくろう！みつけよう！ “つくる”ことをテーマに参加者の発想をかたちにするワークショップ	色を見つけよう 初夏の色のどろーいんぐ	5月10日（日）	未就学児
	国宝上杉本洛中洛外図屏風名場面のアクリルスタンドをつくろう	5月17日（日）	小学生以上
	折り染めで団扇づくり	6月13日（土）	小学生以上
	ガラス絵の具のステンドグラス	7月12日（日）	高校生以上
	造形あそび 紙コップタワーをつくろう	7月25日（土）	小学生
	こどものための1DAYアートプログラム ダリオさんとあそぼう（☆）	8月1日（土）	未就学児・小学生
	紅花染めのひみつ（鈴木孝男氏生誕100年） （☆）	8月2日（日）	高校生以上
	藍の生葉でストールを染めよう	8月11日（火祝）	小学生以上
	郷土玩具のひみつ 張子をつくろう	9月13日（日）	小学生以上
	たのしい紙すき	10月4日（日）	小学生以上
	漆芸の技に挑戦！（☆）	1月9日（土）	高校生以上
	レジンの宇宙ー地球ペンダントをつくろうー	2月21日（日）	小学生以上
鑑賞 ^{とぎ} の時間 ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ 夜の博物館でゆっくり作品を鑑賞できるワークショップ	洛中洛外図をたのしむ	5月8日（金） 9月25日（金）	どなたでも
	北欧デザインの魅力	7月17日（金）	
	SONY star sphere プロジェクト×星のソムリエ 星の煌き観望会（☆）	8月21日（金）	
	入門 刀の鑑賞	12月18日（金）	
体感ミュージアム ～博物館のすべて～ 博物館の裏側を知ってもらい、その存在価値を理解してもらおう ワークショップ	きみもチルドレンキュレーターズ～学芸員になろう22th～	年間12回	小学4年生～高校生
	だれもしらない博物館 ～博物館バックヤードツアー～	11月3日（火祝）	どなたでも
アウトリーチ	学校、幼稚園・保育園・学童保育・コミセン、 PTA親子事業等への出前ワークショップ	随時	
	赤崩草木染研究所見学（☆）	7月26日（日）	高校生以上

（☆）開館25周年記念事業

イ 自由参加制プログラム

企 画	期 日
むかしむかしを聞こう 語り：米沢とんとむかしの会（伝国の杜事業協力者）	5月30日（土） 10月10日（土）

(2) 博物館活動の広報PRの推進

① 図録等の出版

- ・令和7年度 博物館年報
- ・伝国の杜だより（年間2回）
- ・展覧会図録（年間3回）
- ・教育普及事業ミュージアムだより（年間2回）

② 情報ライブラリーの更新

常設展、企画展を補完する米沢の歴史・民俗・文化等の映像ソフトを制作し、情報ライブラリー「おきたまたまてばこ」での提供を行う。

・館蔵資料の画像デジタル化の推進（ポジフィルムのスキャニングによるデジタル化）

(3) 展示内容への理解を深め、魅力を伝える活動、展覧会の充実

① 講演会・トークイベント（ギャラリートーク・コレクショントーク）

企画展・特別展に併せて講演会やシンポジウムのほか、展示内容等の解説を開催する。（別掲）

(4) 地域・学校との連携の推進

① 学校の利用促進

ミュージアムスクールや出前授業等により、博物館を活用した学習機会の提供と支援を行う。

② 博物館実習、職業体験の受け入れ

博物館実習やインターンシップなどの職業体験で生徒、学生の受け入れを行い、博物館の仕事や役割を体感してもらうことで、博物館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげていく。

③ 児童・生徒の利用促進

市内小中学校及び置賜地区内高等学校の児童生徒に、自発的学習の場としての博物館利用を促す。

2-2 資源の活用と連携

(1) 美術作品等の鑑賞機会の拡大

年に数回、収蔵の美術作品を市内の学校や公共施設に貸し出し、博物館以外で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくる。

(2) 資料の公益利用の推進

特別利用・掲載利用・資料貸与について、条例等の基準に基づいて適正に許諾・貸出を行う。

置賜文化ホール

1 文化芸術活動の活性化と伝統芸能の継承

(事業の方針)

- ・様々な舞台芸術に親しむ機会が増え、地域の人々が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせるよう、ホールの特性を活かした公演等を実施する
- ・多様な活動主体による芸術活動が盛んになり、地域の文化・芸術活動の活性化が図られるよう、施設の利用促進を図る
- ・地域の伝統芸能への理解を深め、伝統文化を継承する

1-1 優れた作品や舞台芸術に親しむ機会の提供

(1) 舞台芸術の鑑賞機会の創出

良質で低廉な有料公演を開催するとともに、市民の文化活動を支援し、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する事業を実施する。また、伝国の杜の開館25周年を記念して博物館の企画展示と連携した演奏会などを開催する。(米沢市共催事業)

公 演	期 日
柳家小痴楽・桂宮治 落語二人会	6月14日(日)
大橋エリグラスハープコンサート「一期一会 一天使の歌声、地の響き」	7月4日(土)
山響ユアタウンコンサート2026米沢公演	8月29日(土)
吹奏楽の日コンサート2026	10月11日(日)
人形劇団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」	12月13日(日)
LEO×ワルター・アウアー デュオリサイタル	3月14日(日)
エントランスコンサート	未定

(2) 小中高生の舞台芸術鑑賞機会の促進

寄付金を活用し、地域子ども達に本格的な舞台芸術鑑賞体験を届ける。

- ・年間1回程度開催予定

(3) 利便性の向上

セブンネットを活用したチケット購入手続きの導入(新規)

1-2 能舞台を活用した伝統芸能の継承・普及

移動式能舞台を活かして市民等が能楽に触れる機会を提供し、伝統芸能の普及に努める。また、伝国の杜開館25周年を記念し、能公演を行う。

(1) 伝統文化に親しむ機会の創出(山形県補助事業)

公 演	期 日
能舞台公開移動	5月26日(火)
能楽の祭典	9月13日(日)
開館25周年記念能	11月3日(火祝)

(2) 次世代への伝統文化の継承

内 容	期 日
伝国の杜こども狂言クラブ運営事業 ・稽古 10回 ・発表 4回（上杉まつり「さくらに舞う会」、能楽の祭典、上杉雪灯籠まつり「雪に舞う会」、こども狂言クラブ発表会（仮））	通年事業

米沢市座の文化伝承館

1 伝統文化活動の支援

（事業の方針）

- ・地域の人々等が伝統文化を気軽に体験できる機会を提供し、次世代への継承と普及を図る

1-1 伝統文化の普及促進

(1) 伝統文化に親しむ機会の創出

本格的な数寄屋づくりの茶室を活かし、米沢茶道連合会と連携して日本文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会を提供することで茶道の普及を図るほか、座って行う伝統文化の体験企画を創出する。

企 画	期 日
第34回市民茶会	6月6日（土）
市民お香の会	11月29日（日）

(2) 座って行う文化活動等の支援

市民が自主的に伝統的な文化活動を推進しその伝承を図ることを目的に、和室の機能を活かした「座って行う日本文化」の一つの活動拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与する。

市立米沢図書館

1 地域の情報拠点となる図書館づくり

(事業の方針)

- ・地域の情報拠点としての機能の充実を図り、市民等の多様なニーズに対応する資料及び情報の収集・整理・保存・提供を通して課題解決を支援する

1-1 資料や情報の収集・整理・保存

(1) 資料や情報の収集の推進

市立米沢図書館資料収集方針や選定基準、受入基準等に基づき、図書館資料の充実を図る。購入、寄贈及び寄託については、基準に則って良質な図書館資料の選書・選定に努める。

(2) 所蔵資料の適正な管理の推進

① 排架と整理

1点ごとの資料データを集積し適正な排架に努め、資料が適切な状態で貸出を行えるよう、点検・修理等と随時整理を行う。

② 蔵書点検

誤排架を正し、不明資料の所在や現況を調査し、適切な資料管理を行う。

- ・蔵書点検：令和9年2月1日（月）～2月7日（日）

③ 除籍

利用価値の喪失や亡失、汚破損、重複等で不用となった資料の除籍と廃棄を実施し、常に新鮮かつ適正な蔵書の構成を維持する。

1-2 利用者のニーズに対応したサービスの実施

(1) 図書及び図書館所蔵資料の貸出・閲覧の充実

① 貸出・閲覧

本館での貸出や閲覧の他、約70カ所の公共施設、教育施設、福祉施設等を巡回している自動車文庫車「アタゴオル」の利用拡大を図る。

② 予約・リクエストへの対応

所蔵資料の予約サービスによる貸出のほか、未所蔵の資料へのリクエストについては、購入又は相互貸借制度を活用して利用者の要望に応じて資料を提供する。

③ 複写サービスの提供

著作権法の範囲内での資料の複写サービス及び複写資料の郵送サービスを行う。

④ 特別利用・掲載許可・撮影

条例等の基準に照らし、適正に許諾・貸出を行う。

(2) 情報サービスの提供

① レファレンス

利用者の調査相談に、収蔵資料、インターネット情報等を用いて対応し、必要情報や資料の検索、提供を行う。また、収蔵資料や展示資料等についての質問にも答え、特に郷土米沢に関する質問については特設のレファレンスカウンター（郷土資料調査相談）にて対応する。

② データベース機能の活用

新聞記事・経済情報・音楽配信等に関する有料データベースのほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」機能を提供し、利用者の調査研究や課題解決をサポートする。

③ 暮らしに役立つ情報コーナー

1階オープンスペースにて、米沢市やその他機関と連携し、利用者の生活に資する情報の掲示及び資料配布を行う。

(3) ユニバーサルサービスの向上

① 自動車文庫による図書資料の貸出（再掲）

約70カ所の公共施設、教育施設、福祉施設等を自動車文庫車「アタゴオル」で巡回し、来館が困難な方を含め広く市民へ図書館サービスを提供する。

② ハンディキャップサービス

高齢者や障がい者を主な利用対象とした大活字本やLLブック等の資料の収集を行うとともに、対象者が利用しやすい館内環境を整備する。

(4) 情報の発信

① 出版

・図書館だより（年間4回）

・市立米沢図書館概要

2 読書活動・生涯学習を支える図書館づくり

（事業の方針）

・読書の楽しみを広げる活動を推進するとともに、社会教育施設として市民の生涯学習を支援し、交流活動の機会を提供する

2-1 生涯学習の支援及び交流活動の提供

(1) 郷土資料や歴史に関する学びの機会の提供

講座	期日	定員
第41回 ふるさと歴史講座	9月27日（日）	40人
	10月11日（日）	
	10月18日（日）	
第37回 文学講座	11月22日（日）	30人
	11月29日（日）	
	12月6日（日）	
第70回 古文書解読講座	2月14日（日）	30人
	2月21日（日）	
	2月28日（日）	

(2) 交流活動の機会の提供

英語に親しみ、英語多読の手法を身に着ける「英語多読講座」や、参加者が読み聞かせや絵本についてより深く学び交流する「読書会」など、利用者が一層本に親しみ、本を介して交流することができる場を提供する。

区 分	事 業	期 日
ナセBA英語多読	ナセBA英語多読サロン	隔月 第4土曜日
	英語多読ワークショップ	10月25日(日)
	英語で遊ぼう!	8月9日(日)
読書会	読書会(読み聞かせ講座・絵本講座)	年3回

(3) 市民活動支援事業(新規項目)

図書館資料の活用や読書活動を行う団体を対象に、活動場所の提供や広報活動の支援を行うことで、市民の生涯学習活動や交流活動を推進する。

2-2 読書の楽しみを広げる活動の推進

(1) 図書館への来館機会の創出

事 業	期 間
2026読書週間図書館フェア ・ナイトバックヤード(書庫)ツアー ・特集コーナー ・本と雑誌のリサイクル市 ・ワークショップ ・英語多読ワークショップ ・雑誌の付録抽選会 ほか	10月23日(金) ～11月8日(日)

(2) 特集コーナー(一般資料・児童資料)の設置

季節行事や社会情勢に関するテーマの資料を取り上げ紹介することで、図書館利用者へ新たな気づきを促し、資料の貸出増加へ繋げる。また、先人顕彰コーナーの展示や米沢市上杉博物館、置賜文化ホールの事業等と連携した内容の資料も積極的に紹介する。

3 こどもの未来を育む図書館づくり

(事業の方針)

- ・米沢市子ども読書活動推進計画(第3期)に基づき、社会の未来を担う子どもたちの読書活動を関係機関と連携して積極的に推進する

3-1 子どもの読書活動推進

「ブックスタート」や「おはなしかい」を通して乳幼児期から本に親しむ機会を提供するほか、市内小学校図書館部会や市内各種団体等と連携して子どもの図書館の利用促進を図る。また、家庭における子どもの読書活動の推進として「家読(うちどく)」の周知を進める。

(1) 読書活動の推進

事業		実施時期		対象
ブックスタート		毎月1～2回（7か月児健康教室時）		7か月児と保護者
おはなしかい	図書館おはなしかい （図書館職員、サポーター、サークル夢空間）	毎月3回 （第2・第3土曜日、第4金曜日または土曜日）		乳幼児～小学生
	出張おはなしかい （図書館職員）	毎月1回（第3水曜日）		
	その他	随時		
小学校巡回文庫		（配本）	（回収）	市内小学校
		4月15日（水） 9月9日（水） 11月25日（水）	7月8日（水） 11月6日（金） 3月3日（水）	
2026夏休みこども図書館フェア ・小学生向けバックヤードツアー ・おはなしかい ・ワークショップ ・ぬいぐるみのおとまりかい ・特集コーナー（夏休みの宿題に関する内容）		7月24日（金）～8月9日（日）		幼児～小学生と保護者
令和8年度 米沢市小中学生読書感想画展		作品受付：11月2日（月） ～11月13日（金） 展示：12月9日（水）～13日（日）		市内小中学生
ティーンズコーナー		通年事業		中高生
本のきろく通帳の発行		通年事業		乳幼児～高校生

(2) 地域・学校との連携の推進

① 職業体験・図書館見学の受け入れ

職業体験や図書館見学、インターンシップ等で児童・生徒や学生を受け入れ、図書館の仕事や役割を体感してもらうことで、図書館の社会的役割の理解者を増やし、未来の来館者へとつなげていく。

② 探究型学習の支援

児童・生徒が主体的・協働的に課題解決に取り組む探究型学習について、学校と連携しながら資料提供及び資料検索方法を教えることなどを通して積極的に支援する。

③ 学校及び子育て支援施設等への支援

学校や子育て支援施設等の依頼に応じて、テーマに沿った読み聞かせやブックトークを行うとともに、教員や学校司書、子育て支援にかかわる方々に対しての研修支援や協力を行う。

4 郷土資料を適切に保管し、次世代に伝える図書館づくり

（事業の方針）

- ・先人が残してきた貴重な郷土資料を適切に保存・管理し、デジタル情報への変換も推進しながら、地域の歴史や文化を次世代に伝える

4-1 置賜地域や上杉家に関する郷土資料の収集と保存

(1) 郷土資料の収集、調査研究の実施

市立米沢図書館資料収集方針に基づき、出身作家や上杉家の歴史も含めた、置賜地方の歴史を調べることができる郷土ゆかりの資料（図書、雑誌、古典籍、古文書等）を調査・収集する。

(2) 貴重資料（古典籍・古文書）の適切な保存・管理の推進

資料や設備・機器の更新やメンテナンスを計画的に進めるとともに、朝夕の温湿度管理や清掃を行い貴重書庫の環境保全に努める。また、IPM（総合有害生物管理）活動を定着させ、館全体として収蔵・展示環境の向上を継続的に行う。

(3) 貴重資料の整理及びデータベース化の推進

① 貴重資料の整理・リスト化

受入資料の解読、調査、ラベリングを進めるほか、特に郷土資料中の古典籍・古文書類の未整理資料及び昨年度受入資料を積極的に整理する。また、未受入資料については、受入有無確認、クリーニング、整理、登録、ラベリング収納、写真撮影等の作業を進め、管理体制を整える。

② 収蔵文化財総合データベースの充実

収蔵文化財総合データベースに搭載する資料のデータの整備を推進する。

③ 劣化資料等のデジタル情報への変換

マイクロフィルム資料や地図資料等の劣化が進む資料のデジタル化を行い、長期の資料の保存管理に資するとともに、利用者が利用しやすい環境を整備する。

4-2 郷土資料の活用の促進及び魅力の発信

(1) 図書館資料の活用（先人顕彰（多目的展示）コーナー）※展覧会名は、変更する場合があります

展覧会名	展示期間
「江戸時代のお医者さんたち」	3月27日（金）～5月27日（水） [開催日数61日間]
「写真で見る米沢 Part 8～かつての街・かつての村」	5月29日（金）～7月22日（水） [開催日数53日間]
「郷土米沢と紙芝居」	7月24日（金）～9月23日（水） [開催日数60日間]
「興譲館と学ぶ人びと」	9月25日（金）～11月25日（水） [開催日数61日間]
「小国と米沢」	11月27日（金）～1月31日（日） [開催日数57日間]
「ものしりじいさん吉田綱富の知恵袋」	2月8日（金）～3月24日（水） [開催日数44日間]

(2) 郷土資料に関する情報の発信

収集した郷土資料や古典籍・古文書に関する内容や魅力を、ホームページやSNSを通して積極的に発信していく。また、頻度の高いレファレンスについてのパスファインダー（調べ方案内）を作成

し、利用者が自分で資料にたどりつけるようなツールの整備を行う。

- ・作成予定パスファインダー（館山リンゴなど）

ナセBA開館10周年記念図書館事業

事業	内容	期日
<p>子どもたちの可能性をひらく事業 ～絵本と対話でひらく未来～</p> <p>米沢青年会議所、米沢市教育委員会、 芸術の杜実行委員会共催</p>	<p>① 絵本作家によるお話会・ワークショップ 講師：絵本作家 いしかわこうじ</p> <p>② 子ども会議 (子ども達がまちや未来を語る対話型プログラム) 「わたしたちの幸せってなに？」</p> <p>③ サイン会 ①②は小学2年生～6年生の児童、保護者等約 80人を募集</p>	4月18日(土)
<p>絵本作家によるおはなしかいと講演 会(対談)</p>	<p>① おはなしかい ② 講演会(対談形式) ③ サイン会 講師：絵本作家 ひらぎみつえ</p>	8月29日(土)
<p>歴史講演会</p>	<p>伊達政宗に関する講演 講師：菅野正道(元仙台市史編さん室長)</p>	10月17日(土)
<p>大人の利用者への本のきろく通帳の 配布</p>	<p>希望者(大人)に本のきろく通帳を配布(人 数限定)</p>	未定
<p>アンケート調査</p>	<p>未利用者を含めたアンケート調査の実施</p>	未定

よねざわ市民ギャラリー

1 芸術・文化活動の活性化

(事業の方針)

- ・様々な芸術作品等に親しむ機会が増え、市民等が潤いとゆとりを感じて心豊かに暮らせる
- ・若手芸術家をはじめとする個人や多様な活動主体による芸術文化の創作活動が、地域内で盛んになる

1-1 多様な文化・芸術活動の促進支援

(1) 気軽に芸術作品に触れられる機会の創出（自主事業）

市内の芸術文化団体等と連携しながら展示を行い、市民の芸術鑑賞の機会を広げる。

① 展示事業

展覧会等	会 期
よねざわ市民ギャラリー開館10周年記念 「中村隆行ペーパークラフトの世界 ～昭和 そこにあって ここにはない～」	8月8日(土)～8月23日(日) [開催日数16日間]
「AMO2026大賞展&AMO作家グループ展」	3月13日(土)～3月22日(月祝) [開催日数10日間]
オープンギャラリー 第1期「美術を彩ることば 作者のことばで味わう作品」 第2期「美術の中のこどもたち」 第3期「かたちという」 第4期「春を待ちわびて」	4月24日(金)～7月22日(水) 7月24日(金)～10月21日(水) 10月23日(金)～1月27日(水) 1月29日(金)～4月21日(水)

② ギャラリーコンサート

ギャラリー展示室内でミニコンサートを開催するほか、音楽と連携した展示等の開催を支援し、多様な芸術鑑賞の機会を創出する。

(2) 市民等の主体的な芸術活動の促進（貸館事業）

様々な分野の作品に合わせた展示が可能である施設の機能を活かし、市民の多様な芸術文化活動の成果発表の場として、また、活気あふれる市民の芸術文化活動の拠点として施設を貸与し、地域の芸術文化の振興に寄与するよう、引き続き米沢市や関係団体と密に連携しながら適正かつ円滑な管理運営に努める。

連携と協働による事業の推進と適正な組織運営

1 市民や地域の力を繋ぎ活かした事業の推進

(事業の方針)

- ・市の文化及び観光交流の拠点である上杉文化エリア（伝国の杜周辺区域）内の施設・団体やまちづくりネットワークなどと連携して各施設周辺の賑わいと活力の創出に寄与する
- ・市民等の知識や経験を活かして各施設のサービスを充実する
- ・事業や施設の運営に多くの人々が関わり、協力してもらう
- ・利用者の声を広く集める仕組みを整え、利用者の声を反映した運営を行う
- ・各施設の機能の向上と発揮に努めながら、施設相互が連携して新たな発想や手法による事業を実施する

1-1 市民等との協働による事業の推進

市民の活力を取り入れた活発な事業運営を目指し、一般市民がそれぞれの興味・関心・得意分野を活かして当財団事業に参加することができるようボランティア活動の場を提供する。

伝国の杜と図書館それぞれに「伝国の杜サポーター」と「市立米沢図書館サポーター」による活動のほか、サポーター通信の発行、研修や勉強会、「伝国の杜サポーター」と「市立米沢図書館サポーター」の交流会等によるサポーター同士の交流等も促進する。

(1) 伝国の杜サポーター運営事業

米沢市上杉博物館の洛中洛外図案内人等の資料解説や教育普及活動、図書整理、置賜文化ホールの諸事業における客席案内、広報物発送補助等を行う。

(2) 市立米沢図書館サポーター運営事業

一般部門では、図書修理のほか、読み聞かせをはじめとしたイベントの補助、読書困難者を対象とした支援、郷土資料の解説やマイクロフィルムのデジタル化などの活動を行う。

ティーンズ部門では、高校生メンバーがおすすめ本の紹介やティーンズコーナーの充実に向け活動する。

1-2 地域と密着した活動の促進

(1) 伝国の杜ファンクラブ運営事業（収益等事業3）

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールの利用や財団事業への参加を通し、会員の興味・関心に応えるとともに、相互の親睦を図り、伝国の杜を支えるコアを育てる。

今年度も継続してPRと特典の充実の検討を行うなどにより、会員の定着を目指し、会員数の目標を330人とする。

1-3 関係機関等との連携の推進

(1) 米沢市歴史文化拠点地区内の諸団体等との連携の推進

上杉文化エリア懇話会や上杉文化施設協議会のほか、米沢四季のまつり実行委員会等と連携し、本市が誇る歴史、文化、観光の交流拠点である伝国の杜周辺地区の魅力向上と集客促進を図る。

- (2) 米沢市中心市街地活性化協議会等と連携してにぎわいづくりへの貢献
ナセBAの「こまや」を活用した、コミセンや各種団体のにぎわい創出事業等への協力を行う。

2 公益財団法人としての適正な組織運営と安全安心で開かれた施設利用

(事業の方針)

- ・ 公共施設であることを念頭に、経営基盤の安定と利用者及び収入の確保に努める
- ・ 内部評価や外部評価に取り組み、運営やサービスの改善に努める
- ・ 事業の目的と方法の明確化及び職員間の共通理解を図り、業務の無駄を無くす
- ・ 利用者と職員の安心・安全を第一に、施設設備の保守及び危機管理に取り組む
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をはじめとする危機管理体制を維持し、利用者や職員が安心して利用や事業参加ができる環境をつくる

2-1 収入の確保

(1) ショップ運営事業（収益等事業1）

財団運営及び事業展開の安定化の財源を確保するほか、利用者サービスの充実のため、米沢市上杉博物館のミュージアムショップ及びネットショップにおいて、博物館で編集・発行する展覧会図録をはじめ自主製作商品や受託商品の物品販売を行う。

2-2 施設の安全の維持向上

(1) 施設の適正な維持管理の推進

指定管理を受けている施設について、管理者である米沢市との連絡を密にしながら計画的に施設や機器の修繕・更新等を進める。

大規模な施設改修等の予定（山形県及び米沢市が工事主体）

- ・ 空調設備工事及び舞台吊物等設備改修工事（令和7年度からの継続事業 4月末まで）
- ・ 伝国の杜屋根改修工事設計業務（新規）
- ・ 常設展示室のリニューアルに向けた準備（新規）

2-3 貸館施設の利用の促進

設置者である米沢市や山形県等と連携して貸館施設を含めた施設全体の利用促進に努める。

(1) 情報発信の強化

広報物や出版物の発行、インターネットにおける情報発信等を実施し、施設の事業活動を協力者や市民に対して紹介し、施設の利用促進を図る。

- ① 米沢市上杉博物館会議室（収益等事業2）
- ② 置賜文化ホール
- ③ 米沢市まちなか駐車場

2-4 運営組織体制の維持・向上

(1) 法律等に基づいた適正な組織運営と情報公開による運営の透明化

① 役員会の開催

法に基づき理事会等を開催し、公益財団法人としての適正な運営に努める。

- ・ 定時評議員会（年1回 6月）
- ・ 通常理事会（年2回 5月、3月）
- ・ 必要に応じて臨時評議員会又は臨時理事会を開催

② 新公益法人会計基準への対応

新公益法人会計基準（令和6年基準）へ適切に対応するための準備を進める。

(2) PDCAサイクルによる業務改善の推進

① 内部評価

年間の事業計画で掲げた目的や目標の達成状況について、KPI指標を基に評価を行うほか、博物館の企画展・特別展や置賜文化ホール等の事業について実施後に点検評価を行う。

② 外部評価

- ・ 博物館の展示及び置賜文化ホールの自主事業に対する来館者アンケートの実施
- ・ 伝国の杜運営協議会の開催（年2回）
- ・ ナセBA運営協議会の開催（年2回）

(3) スタッフの育成

① 講習会・勉強会の開催、研修への派遣

新規採用者研修や職員の定期的な勉強会や研修会を実施するとともに、外部研修等へも積極的に派遣し、スタッフとしての知識の習得や技能の向上を図る。

(4) 安全で全ての職員が働きやすい職場づくり

① 危機管理の徹底

- ・ 避難訓練の実施（年2回）
- ・ 救命救急講習会等への派遣
- ・ 危機管理マニュアルの整備と内部周知
- ・ 情報セキュリティ体制の整備

② 職員の労働環境の整備

社会情勢の変化やワーク・ライフ・バランスの視点を踏まえながら、職員の適正な労働環境を整える。

- ・ カスタマーハラスメント対策の実施